

令和5年度「子ども議会」の提案について

進捗状況  
 ◎実施      ○実施予定  
 ☆実施しない      ◇その他

番号	グループ	提案・質問内容	答弁担当課	進捗状況	実施内容
1	①環境・自然グループ	「千葉公園バージョンアッププロジェクト」 ・ディップスタードームでのクリーンエネルギーイベントについて ・ドッグランの設置について ・大賀ハスをアピールする商品の販売について	環境局環境保全部脱炭素推進課 経済農政局経済部公営事業事務所 都市局公園緑地部公園管理課 都市局公園緑地部緑政課	◇	TIPSTAR DOME CHIBA内では電気等で抵抗荷を作っている従来のエアロバイクではない空気抵抗を荷荷にしているワットバイクを設置し、場内イベントに活用しております。クリーンエネルギーイベントについては主催団体、所管課等から開催要望があれば競輪運営を委託している事業者、選手会に協力要請し、ドームでの開催を検討します。 現在、ドッグランは中央区では県立青葉の森公園内に設置されているところです。また、美浜区では稲毛海浜公園の花の美術館前庭エリア内に民間事業者が、プレオープンとして令和5年10月から1月末まで設置してきましたが、現在、休止中で、4月からの再開を検討しております。
2		ゴミゼロクリーンデーの知名度を上げるプロジェクト 「愛と環境と自然のTシャツ・エコバック デザインアワード作品募集大作戦」 ・エコバックやTシャツのデザインを募集し、参加者に配付することについて ・クイズ等のコーナーを設け、参加者アツにつなげるについて	環境局資源循環部廃棄物対策課	◇	千葉公園内のカフェなどで、オオガハスのイメージキャラクターの「ちはなちゃん」グッズが販売されているほか、令和4年度のおオガハス開花70周年を記念に、トートバッグの配布、及び記念切手などの販売がありました。
3	②安全・安心グループ	「My防災カード」の作成 ・A4判1枚の紙で作るミニ本タイプの防災カードの作成について	総務局危機管理部防災対策課	○	子どもの参画事業「子ども・若者のカワークショップ」において、防災カードを作成し、令和6年3月開催の「ぼうさいまつり」で公開予定です。その後、ホームページ等へ掲載し、取り組みを紹介する予定です。
4		防災キャンプを開催し、防災カードの必要性を訴えたり、防災対策について体験できるようにしたりする ・防災カードの大切さについて ・体験コーナーを設置して、防災対策の意識を高めることについて	総務局危機管理部防災対策課	◇	子どもたちが参加する宿泊訓練としての防災キャンプの実施につきましては、参加者の安全を配慮するため、多くの方の協力と配慮が必要になりますが、先進的で有効な取り組みについては、参考事例として周知を図ってまいります。
5	③健康・福祉グループ	生きづらさを抱え困っている方を支援するために ・「ちばレポ」の周知について ・必要な費用を募金で呼びかけ、いち早く困っている方々を支援する仕組みをつくることについて	市民局市民自治推進部広報広聴課 保健福祉局健康福祉部地域福祉課	◎	ちばレポのチラシを商業施設に配架しました。また、高校の総合的な学習の時間にちばレポを取り上げてもらったほか、千葉市内の大学等にちばレポの周知依頼をしました。さらなる周知啓発に努めます。 「募金」については、社会福祉基金を設置し広く寄附を受け付け、市内の社会福祉施設への物品寄贈や福祉の増進に寄与する事業に活用しています。いただいたご提案を参考にして、今後とも困っている方への支援の仕組みについて研究してまいります。
6		生きづらさを抱えている方々への支え合いの力を高めるために ・障がい者や高齢者と健康者が交流できるイベントを実施することについて	保健福祉局高齢障害部障害者自立支援課 市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課	◇	障害のある方が参加するイベントは、土日開催が多く、専門的な支援が必要な方が参加するものもあるので、生徒の皆さんに無理なく運営に参加できるイベント等がないか検討しています。
7	④子ども・教育グループ	放課後の子どもたちの居場所を増やして、子どもがいきいきと楽しく過ごせるようにしていくこと ・空き家を活用するなどして「どこでも子どもカフェ」の数を増やすことについて	子ども未来局子ども未来部子ども企画課 都市局都市部都市安全課	◎	空き家等様々な場所で「どこでも子どもカフェ」を開催できるように継続して支援を行うとともに、チラシの配布など主催者と協力して取り組み、子どもたちへの周知を行いました。また、「どこでも子どもカフェ」を見守ってくださる方を増やすため、今年度も市民の方向への講座を実施し、秋の講座を開催する際は、市内の小中学校に協力をお願いし、セーフティーワッチャーの方にご案内が届くように努めました。
8		放課後の子どもたちの居場所を増やして、子どもがいきいきと楽しく過ごせるようにしていくこと ・公園をいろいろな遊びができる楽しい場所にするについて	都市局公園緑地部公園管理課	◎	子どもたちがいきいきと成長できる遊びの場として、引き続きプレーパークを運営しているほか、安心して公園をご利用いただけるよう老朽化対策や施設の改修を実施しました。
9	⑤都市・交通グループ	「いのちを守れ！！ヘルメット大作戦」(自転車を安全に乗ることやヘルメット着用義務の意識を高めるイベント) ・デジタルサイネージで千葉市ゆかりの人にヘルメットを着用してもらい啓発をすることについて ・交通安全教室や様々なヘルメット展示を行うイベントについて	建設局道路部自転車政策課 市民局市民自治推進部地域安全課	◎	日本競輪選手会・千葉支部所属選手のヘルメット着用写真を用いたデジタルサイネージを、本庁舎にて令和6年3月15日より掲載中です。今後はイオン等での掲載も検討しております。また、令和5年12月9日にTIPSTAR DOME CHIBAで開催されたPIST6クリスマスイベントで、ヘルメットの展示を行いました。
10		「モノバス」(モノレールバスポート)を使った千葉都市モノレールの利用促進 ・モノバス加盟店を募り、店舗独自や市の特典を受けられる仕組みについて	都市局都市部交通政策課	◇	モノレールの利用促進に関しては、沿線施設の商品開発や千葉駅にグランドピアノを置く等の取り組みを実施してきました。また、各種フリーきっぷを利用した方には、提携施設での特典などを用意しております。 今回ご提案いただいた「モノバス」に関しては、今後の利用促進策の検討の際に参考とします。
11	⑥地域経済グループ	千葉市の食(千葉市食のブランド「千」、地産地消、有機農産物)を広める取組 ・千葉市食のブランド「千」のイベントを千葉公園などの広い場所で開催することについて ・イベントの宣伝について	経済農政局農政部農政課	◇	千葉市の食を広める取組として、イオンモール幕張新都心での食のブランド「千」認定品販売会、そごう千葉店での食のブランド「千」フェア、幕張メッセでの地産地消のPRなど、市内各所でイベントを開催しました。今後も、多くの方が集まる場所でのイベントの開催について検討していきます。 また、宣伝については、SNSをはじめ、イベント実施施設でのデジタル広告の掲出、動画の放映などを行いました。より効果的な宣伝に向けて、今後の参考にさせていただきます、食のブランド「千」のさらなる発展に努めてまいります。
12		千葉市食のブランド「千」についての出張授業の実施 ・千葉市食のブランド「千」や、千葉市の食の課題等について学習することについて ・出張授業と給食をセットにした取組の実施について	経済農政局農政部農政課 教育委員会事務局学校教育部保健体育課	◇	千葉市の農業や農産物について理解を深めるため、生産者様とともに出張授業を行っています。その中で、食のブランド「千」の取組について紹介していきます。 給食については、供給する量や費用面での調整が必要なため、生産者・JA・学校などの関係者と実施が可能となるか相談していきたいと思っています。